



学ぶ 伸びる 育つ

中央っ子

やさしく
かしこく
たくましく

第15号

令和6年2月19日

中央小学校

文責 上原

がんばっている桜の木

二月四日は「立春」、暦の上では春となりました。春と言えば、桜。満開の桜はとてもきれいです。でも、「花も葉もない今の桜の木が一番美しい」と言う人もいます。一年で最も寒くてつらい冬の時期、桜はそれでも枝を高くつぎだし「凛」と立っています。

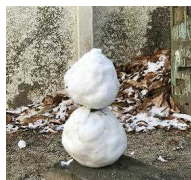


よく見ると枝の先には小さなつぼみ。冬の桜は、土の下の根っこで栄養を取りながら、春に満開の花を咲かせるための準備を一生懸命に進めているのです。だから、桜の木が一番頑張っている今の姿が美しいと言うのですね。子ども達にも、見えない頑張りとその美しさを感じて欲しいと思います。

一月二十四日は、厳しい寒波による降雪や凍結の影響で、一時間の遅延登校となりました。急な対応にもかかわらず協力いただきありがとうございました。子ども達も気をつけながら登校していました。お声かけありがとうございました。

雪も楽しい

その中で、登校してくる子の中には、白い塊が。中には、ビニル袋いっぱいの雪を集めてきた子もいました。厳しい寒さの中ですが、子どもたちにとっては絶好の雪遊びのチャンス。外に飛び出し、雪をかき集めながら、雪玉や雪だるまづくりを楽しんでいます。学校のあちこちに大小たくさんの子どもの力作が並んでいました。



学校運営協議会

本校は、「コミュニティ・スクール」として「学校運営協議会」が設置されています。学校や地域の課題や強みを共有しながら、子どもたちを中心とした、よりよい学校づくりや地域との協働などについて話し合っています。



先日（一月八日）に、本年度五回目の「学校運営協議会」を開きました。今回が今年度最後となり、委員の皆様には子どもたちの学習の様子や先日の学校評価アンケートの結果をご覧いただき、一年間の総括も含めてご意見や感想をお聞きました。

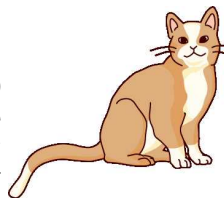
「子どもたちの学習の様子から、学年が上がるにつれて成長を感じた」「授業でタブレットを使いこなしているのに驚いた」「子どもたちが自然とあいさつをしてくれてよかった」「授業をする先生の表情がとても良く、子どもたちの学びにつながっていると感じた」などの感想をいただきました。

委員の皆様には、貴重なご意見をいただくとともに、一年間行事等への参加や協力、子どもたちの見守りなど大変お世話になりました。

大切な命

二月六日の朝のことです。プールに入り込み、凍えている猫を子ども達が見つけました。知らせを受けた先生が急いでかけつけ、隅の方でうずくまっていた猫を発見しました。抱きかかえて職員室に連れてきてくれましたが、寒さで弱っていたのか、動くこともできず体を震わせている状態でした。

段ボールにタオルを敷き、毛布で体を包み、お湯を入れたペットボトルを湯たんぽ代わりにして、職員室の暖かいところで介抱しました。ずっと体を丸めて動かない状態で、先生たちも心配そうにのぞき込んでいましたし、休み時間には子ども達も見に来ていました。



次第に体も温まったのか、頭を動かしたり、呼びかけに応えるように「ニャー」と鳴いたりできるようになりました。ボランティアの方の助けもあって、夕方には、エサも食べるようになり、元気に回復したそうです。

小さな命を大切に思う子どもと先生たちの心の温かさを感じた出来事でした。